

第 13 回市民説明会（オープンハウス・説明会）

【実施概要】

1. 日時・場所

9月9日（土曜日） イオンモール札幌発寒（西区）

オープンハウス 10時00分 ～ 17時00分

説明会 15時30分 ～ 16時30分

2. 来場者数

660人程度（内訳：オープンハウス 約640人、説明会 約20人）

3. 当日の様子



4. オープンハウスでいただいた意見

〈期待の声〉

- ・子どもたちに観させてあげたい。早く招致を決めてほしい。
- ・東京大会をテレビで観ていたが、他に代えがたい感動がある。経費のことをもっと説明してわかってもらえれば賛成が増えるのでは。是非やってほしい。
- ・札幌が活性化するのでいいと思う。
- ・1972年大会では、真駒内アイスアリーナでジャネット・リンを観て感動し

た。スポーツ観戦は好きだが、生で観ると感動はひとしお。是非実現してほしい。

- ・月寒団地の建替え、大倉山ジャンプ競技場の改修は是非やってほしい。
- ・税金を投入しないことを知らなかった。是非もっとアピールしてほしい。
- ・既存の施設を使うという計画は大変良い。頑張ってもらいたい。

〈不安や懸念の声〉

- ・東京大会は良いこともあったが、食べ物の廃棄や汚職があったため、同じことが起こるのではと不安。
- ・経済効果が大きすぎて、身近に捉えられずよく分からない。
- ・施設は新設ではなく改修や改築なのだとしても、今後きちんと使われるのか疑問。
- ・東京大会のような汚職が出るのであれば反対。選手が活躍できる場は作ってあげたいが不安しかない。
- ・1972年に造った真駒内団地も老朽化している。見栄を張るのに税金を使わないでほしい。
- ・他の施策を頑張ってもらいたい。地下鉄が伸びれば嬉しい。
- ・オリパラが開催できれば盛り上がるし札幌のためにはなるが、汚職があると何のためにやっているのか分からなくなる。
- ・住民投票で早く決着をつけた方が良い。賛成でも反対でもないが、長引かせていると悪い点がどんどん出てくる。
- ・賛成ではあるが、2030年だと新幹線が間に合わないため、後ろ倒しした方が良い。
- ・若い人の意見を聞くべき。赤字になった場合負担するのは若い人たちであるため。
- ・IOCの言いなりになり、東京大会のようになる。

5. 説明会でいただいた質問や意見

- ・これから資材や人件費が高騰するため、現在の支出の予算を上回る可能性が高い。その場合、税金が投入されるのではないかと心配。
- ・住民投票を行うべき。

- ・招致したいのであれば、札幌市職員の給与や退職金の2〜3割を積み立て、当初予算を超えた場合はそこから補填すべき。
- ・第3回定例会市議会で、住民の意向調査のための予算を計上していないという記事を見た。IOCのスケジュールでは12月に2030年大会の内定が出ると言われているが、意向調査が間に合わないのでは。
- ・除排雪や学校へのエアコンの設置等、他にやるべきことがある。
- ・2022年3月に行った意向調査の対象者は、1万人では不十分だったのではないか。
- ・帯広と長野でも競技を行うのであれば、JRや飛行機の運休や欠航が起こるリスクがあり、対策を考える必要がある。
- ・東京大会の汚職事件を踏まえ、札幌市として原因の分析を行い、対策を打つ必要がある。2030年大会では、事業内容をすべて記録し開示すべき。
- ・オリンピックに手を挙げるのは今ではないと思う。
- ・広告代理店に依存した構造への懸念はあるが、札幌市がノウハウを持っているとは思えない。広告代理店以外にノウハウを持っている組織の具体的な候補はあるのか。
- ・新月寒体育館や大倉山ジャンプ競技場のデュアル化等、オリンピック仕様の巨大な施設は本当に必要なのか。今すぐ必要なものに市税を使うべきでは。
- ・市民のスポーツ実施率は本当に上がるのか。新月寒体育館のような巨大な施設を造るより、各区の体育館やプールの利用料を下げた方が市民にとっては効果がある。
- ・札幌では昨今宿泊施設が高騰し、気軽に宿泊することができなくなっているが、オリンピックでさらに価格が高騰すると、国内の観光客が躊躇し経済効果に繋がらないのでは。
- ・月寒体育館や大倉山ジャンプ競技場は建替えと言っているが、新設ではないか。
- ・大会の効果としている4項目（スポーツ・健康、社会、経済・まちづくり、環境）は、オリンピック・パラリンピックの有無に関わらず、札幌市として最低限実現しなくてはならないことではないか。
- ・トップスポンサーの存在により日本の企業が参入できず、日本の企業が提供するものが使われないということが起こるのでは。